

第1回北國杯オンライン形競技大会 フィードバックコメント

種目名	柔の形
-----	-----

①	平成国際大学	取	大島 彩海	受	松葉 ひより
---	--------	---	-------	---	--------

◎審査員 A

- ①動きはとてもきれいなので、攻撃する箇所、その応じ方を知って動けば攻撃防御が見えて得点につながると思われます。
- ②先々勝手に動いているので、相手の攻撃に応じて動く所が見られると理合いに適い面白さが出ると思われます。

◎審査員 B

- ①礼法を含めて動作は、「緩やかな動作で、力強く」を表現して欲しいと思います。
- ②講道館発行のテキストで運動を一つずつ確認すると、もっと正確になると思います。「継ぎ足」、「最初に顔を右に」「肩を下げ」、「足をわずかに引いて」、「顎をしめ」、「肘を張り」など運動を十分に表現できていないところが多数見られました。また、順番に行うべき運動が同時に見える箇所もありました。

◎審査員 C

- ①柔の形だけでなくいずれの形も、相手の動作に応じて動くことが重要となりますが、受が仕掛ける前に取が動いてしまうことが目立ちました。(例 突出で、受が自分で左上肢を挙げて取に左手首を取らせてしまう) これは動作を覚えたころに出てくるクセで、いわば誰でも通る道です。今後の改善を期待しています。
- ②全体を通し、きちんとした間合いを取ることができていないようです。例えば帯取は1歩(約40cm)、胸押は近間に立ってから施技を行います。足元を見ないで正しい間合いに立つのは難しいですが、せっかくここまで頑張られたのですから、今後のいっそうの努力を期待します。

◎審査員 D

- ①取、受ともに、全体を通して丁寧に演技しようという姿勢が見られます。次の動きを先取りせず、受、取が交互に動作を行うと、利合いが見えるようになると思います。
- ②取は、受を正しく崩せていない技がいくつかありますが、正しい間合いで行えば修正できると思います。受は、それぞれの技の打突点を再度確認し、目付と共に突きに行くことで、より良くなると思います。

◎審査員 E

- ①柔の形で大切なゆるやかな動作をしっかりと丁寧に演じる事ができていて、随分と稽古をしたのが見て取れました。全体の流れはとても良いと思います。柔道の稽古で体幹が安定しているのでしょう、一般女子の様な俗に言う「グニャ」っとならないので安定感がありクリアです。今後、全国大会に挑戦してもらいたいと強く思う将来性を感じる形でした。
- ②形の稽古を通して、順番動作を理解したので「先読み」が見られます。受(取)共に相手の動きより早く反応してしまっているのが残念です。(例:崩される方向へ突く・突かれる前に取ってしまう・取に寄せられる前に寄る等..) 再度教本の確認を! 突く箇所と制する箇所・足の運び(左右足)の明らかな間違いがあります。点数が低い技はその為です。10点程度はそれだけで改善されるでしょう。どこかの講習会で一緒にできるのを楽しみにしています。